

「南部町バイオマス発電所」 が稼働します!



南部町バイオマス発電所 竣工式

令和3年5月21日(金)にアルカディア南部総合公園スポーツセンターで『南部町バイオマス発電所』の竣工式が行われました。

今回建設されたバイオマスガス化発電施設は、(株)長大(東京都)の出資により(株)南部町バイオマスエネルギーにより建設されました。発電設備はマレーシアの(株)アールプラス社製で、国内での第1号機となります。

本発電所は一般的なごみ焼却所で採用されているタービン発電機を蒸気で回転させエネルギーを作る直接燃焼方式ではなく、木質チップから可燃性ガスを生成し、ガスエンジンで燃焼・発電する熱分解方式を採用しています。最大発電量は760kWhで、約1,000世帯分の電力供給が賄えます。発電された電気は、国の再生可能エネルギー電力固定価格買取制度(FIT)を利用し、『間伐材等由来の木質バイオマス(間伐材、主伐材等)』を使用することによって、20年間同じ金額で買取が行われます。

そのため、一般廃棄物(街路樹剪定枝、庭木等)、建築資材廃棄物等、一般木質(製材端材、輸入材等)は、燃料として利用できません。間伐材についても、公共機関が行う森林整備計画において搬出された木材しか使うことができません。

燃料供給は合同会社南部Green・Energyと契約し行われます。南部町は、燃料の安定供給に対する支援として林業関係者、発電事業関係者及び行政等関係者が、意見交換する会議を設置し、燃料調達の支援を行います。

発電所は、6月中旬に本格運用する予定ですが、今回行われるバイオマスガス化発電事業において、南部町内の森林で間伐等により伐採された木材のうち、利用されるこのとのない、いわゆる未利用材が、バイオマスガス化発電施設の燃料としてその価値を見出し、森林資源の有効活用につながることで、また、アルカディアスポーツセンターへの熱源供給の他、災害時には電源が確保されるなど、災害に強いまちづくりにつながります。

固定資産評価審査委員が 決まりました

4月22日(木)に開会した令和3年南部町議会第2回臨時会において、任期満了に伴い固定資産評価審査委員3名が選任同意され、5月20日(木)に町長から選任書が交付されました。

固定資産評価審査委員会とは、独立した中立的・専門的な立場から固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定、その他の事務を職務としています。任期は令和6年4月30日までです。

よろしく願います。



田中千里氏 四條千勝氏 遠藤優一氏

栄保育所・富河保育所 さつまいももの植え付け体験

5月14日(金)に栄保育所と富河保育所でさつまいもの植え付けを体験しました。保育所では、畑の土に触れて農作物の大切さを学んでもらおうと、毎年さつまいもの植え付けを実施しています。

当日は天気にも恵まれ、園児達は30センチほどに育った苗を先生に教わりながら丁寧に植えました。最後に、みんなで『大きなあれ!』とさつまいもの苗に声をかけました。

秋になって大きく育ったさつまいもを掘るのが楽しみです。



上手にできたかな?
(富河保育所)



大きく育ってね
(栄保育所)

VF甲府ホームタウン 南部町サックスデー

毎年開催されている、サッカーJ2リーグヴァンフォーレ甲府ホームタウンサックスデーが、5月9日(日)にJリーグサイクルインクスタジアムで東京ヴェルディを迎えて開催されました。

今年は都留市と共同開催で、新型コロナウイルス感染症防止対策として、観客数の制限や入場時の検温などを行いながらの開催となりました。

試合開始前には入団教育長から両チームに「南部茶ベツトボトル」が贈呈され、ハーフタイム中には大型ビジョンでのPR動画の放映や、特産品贈呈の抽選会が行われました。

試合も、2-1-0の完封で見事勝利しましたので、この勢いでJ1昇格を目指して、『AGGRESSIVE』に躍進することを願っています。

今後も、ホームタウンの一員として、J1昇格目指して応援していきますよ。



新井涼平キャプテンへ贈呈